

第5回交流会開催 52人集結



20〜40代の京都大学卒業・修了生が交流を深める同窓会組織「京都大学同窓会若手会」通称「京大若手会」会長・許志国(06年経済学研究科修了)の交流会が2013年11月30日、東京都渋谷区のピアノカ

プロの美声にうっとり 難問クイズで交流深める

フェーブルーエート」で開催された写真展。満45歳以下の卒業生・修了生52人が参加。参加者のうちおよそ3分の1が初参加だった。再会した友人との旧交を温めたり、初めて出会ったにもかかわらず即座に意気投合したりするなど、交流会は

大盛況となった。若手会の交流会開催は通算5回となった。

交流会のメインは、ピアニスト松井理恵さんとソプラノ歌手奈良原麻里さんによる本格的なオペラコンサート。

り、奈良原さんの美声が会場に響き渡ると、会話や食事を楽しんでいた参加者は思わず手をとめ、プロの2人が奏でる魅惑の音色に耳をすませた。「もろびとこぞりて」「椿姫」などの演目が披露され、参加者は一足先にクリスマス気分を堪能。最終演目の「タイム・トゥ・セイ・グッドバイ」が終わると、会場からは2人への大きな拍手と賛辞が沸き起こった。

交流会では、参加者が8チームに分かれ、京大や京都にちなんだクイズに丸となつて挑む「チーム対抗クイズ大会」も開催された。

「現在の京大総長の名前はどれか」というサービステマから「農学部旧演習林事務室が建てられたのはいつか」という超難問まで計10問が出題され、参加者は大学受験で養われた豊富な知識を総動員し、全問正解を目指していた。優勝したチームには、京大オリジナルグッズのしおりが贈呈された。

交流会の締めくくりには、理事で工学研究科出身の松原大樹氏(07年修了)が、3月15日に京都大学東京オフィス(品川区)で開かれる「若手会年次総会」を参加者に案内。「若手会を皆で創り上げるため、皆の意見を反映させるための、年1回の貴重な機会。ぜひ参加してほしい」と呼びかけた。



13年ぶり 奇跡の再会



▶ 歓談し交流を深める参加者



▲ 演奏する奈良原さん(右)と松井さん

「まさか高校の同級生と再会するなんて本当にびっくりしました」。文学部出身の中道敦子さん(06年卒)は声を弾ませる。

13年ぶりの再会を果たした相手は、農学研究科出身の松本朗子さん(08年修了)。会の当日、受付の手伝いをしていた松本さんが中道さんに気づき、「あっちゃーん!」と声をかけた。中道さんもすぐ「あつ松本さんやん!」と応じた。

2人は同じ中高一貫校出身。同じクラスになったことはなかったものの、1学年150人ほどのアットホームな学校のため何度か話をしたことがあり、お互い良い印象を持っていた。

2人とも京大に進学したが、中道さんは文学部、松本さんは農学部。大学時代は一度も会うことはなく、高校卒業後初めての再会場の若手会となった。

まさかの展開に驚いた2人だったが、高校時代の思い出話や近況報告で大いに盛り上がった。

中道さんも松本さんも若手会に数回参加したことがあったが、「ずっとすれ違っていたので、2人とも参加したのは今回が初めて」(中道さん)。松本さんは「新しい出会いも新鮮でも楽しいが、友人との再会もとても嬉しい。色んな出会いを大切にしたい」と話し、中道さんは「新しい出会いがほしい」と思っていたが、思いがけず参加してみたら、旧友との再会という思いがけない幸運をありがたく思っている」と話していた。

第5回若手会幹事団

花岡 幸音 (2012年 文学部卒 名簿・楽屋担当)	確井 彰 (2007年 農学研究科修了 受付担当)	黄平 (2007年 工学部卒 司会担当)	林匡史 (2012年 情報学研究科修了 司会担当)	中西 梓 (2008年 教育学部卒 会場・新聞担当)	濱口 雄太 (2012年 工学研究科修了 リーダー)
----------------------------	---------------------------	----------------------	---------------------------	----------------------------	----------------------------



▲クイズ大会で盛り上がる会場

30人以上が参加した2次会▶

若手会で旧友との再会を果たした人もいれば、新たな出会いや繋がりを得た人もいる。2次会で偶然隣の席になった工学研究科出身の濱口雄太さん(12年修了)と経済学部出身の佐々木快さん(12年卒)は同じ中学・高校の出身で、初対面ながら中学時代の思い出話を花を咲かせた。

2人の出身校は東海地区有数の中高一貫進学校、東海中学・高校(名古屋市)。入学直後の中学1年全員がふんどし一丁で三重県を泳ぐ「水練会」など、独特の伝統行事を実施することも知られている。

濱口さんによると、水練会ではクラスごとに身につけるふんどしの色が異なる。ふんどしの色は赤や青、緑、

ふんどしの絆 強まった夜

黄土色などがあるが、「水にぬれると布が透ける黄土色はアウト」(濱口さん)など色によって当たりはずれがあり、毎年どのクラスがどの色のふんどしを身につけるかが新入生の一大関心事になるといふ。

同じような青春時代を送った濱口さんと佐々木さん。「僕は赤でラッキーでしたけど、佐々木さんは何色でした?」「俺は青だった。昔は白もあつたらしいよ」などと、2人の会話は初対面とは思えない盛り上がりを見せた。

水練会の狙いは「心身を鍛錬するとともに、裸の付き合い合いで一体感を深めること」(濱口さん)といい、ふんどし着用で養った絆をさらに深めた一夜となった。

今の職場には素敵な男性がいなくて、職場以外に出会いは求めてみてはいいかがでしょうか。

たとえば大学の同窓会。大学の同窓会といえば、一昔前は参加者が高齢の方ばかりでした。ですが、最近では若い人との間で同窓会の良さを再発見する動きが広がっており、参加者が若者に限定した同窓会もあるようです。

「初対面の人ばかりでは」と不安で腰が引ける方も、

若手案内



まつばら ひろこ
(恋愛カウンセラー)

大学時代の思い出話で盛り上がり、意気投合することも多いようです。私の知り合いの男性も、出身大学の若手限定同窓会で役員をしています。その同窓会の男性役員3人は皆とても素敵なのですが、不思議なことにそろいもそろって独身だとか。

魅力的なあなたなら、きつと素敵な男性に巡り逢えるはず。どうか自信を持って、一歩前に進んでください。

30代女性。結婚相手がないかなあ見つからず、悩んでいます。

両親ともに美形で、生まれた時から容姿に恵まれた人生でした。学生時代はこの美貌を買われ、地元自治体の友好大使を務めるなど、順風満帆の人生を送っていました。語学も堪能で、英語、中国語、日本語の3ヶ国語が話せます。

ところが就職してからは仕事が忙しく、会社と家を往復するだけの毎日。良い出会いに恵まれません。

都内の大手電機会社

魅力的な私 なぜ結婚できぬ

に勤務しています。周囲の男性は皆「草食系男子」。理系出身者ばかりで会話はかみ合わず、職場の飲み会でも話が盛り上がりません。

同い年の友人は次々に結婚し、焦りが募ります。休日になっても出かけるのがおっくうになり、今の楽しみといえは素数ものさしを使っただけのもの。長さを測ることぐらいです。率直に言っても、なぜ私のような魅力的な女性が結婚できないのか、よくわかりません。(東京・G子)

今後の若手会予定

- 第6回：年次総会 3月15日(土) 14:30～
京都大学東京オフィス(東京・品川)
- 第7回：交流会(関東) 6月7日(土) 夕方～
日時場所の詳細はホームページをご覧ください
- 第8回：交流会(関西) 7月6日(土) 夕方～
日時場所の詳細はホームページをご覧ください

詳細と参加申込▶ 若手会ホームページ(下段)参照

若手会とは

京都大学同窓会若手会とは、京都大学の学位(学士、修士、博士)を有し、かつ満45歳以下の若者に限定した同窓会組織です。

- 特徴
- 資格必要：京都大学の学位を有する満45歳以下の若手限定。
- 学部不問：在学時の学部、研究科、専攻を超えた同窓会組織。
- 地域不問：日本国内、世界各地で開催する若手会に参加可能。
- 所属不問：勤務先、業種、職種を超えた異業種の同窓交流会。
- 全員主役：会則に基づき、参加者が自主運営の京大若手組織。